

巻 頭 言

淺 井 圓 道

高橋・望月・町田・上田の四先生が平成十一年三月末日を以て、四十年にわたる本学での研究・教育活動に終止符を打って、この度お元気でめでたく停年退職された。まことに御苦労様でした。

この記念号は四先生の平成十一年一月下旬の最終講義の特輯である。それぞれのお言葉の中には学問のことのみならず、退職にあたっての哀愁が行間にはじみ出ていると思う。

四先生は平成十二年一月十二日の教授会、二月四日の理事会においてお揃いで名譽教授の称号を授与され、三月の卒業式の日に行なわれることになっている。宮崎学長が平成八年に名譽教授になられて以来の慶事である。

私も平成九年三月に停年退職を経験した一人だが、退職は覚悟の上とはいうものの、矢張一抹の淋しさがある。今までとは違った世界に入りこんだような不安がある。しかし考えてみれば、これから第二の人生が始まる。どうか四先生、大いに行学二道にはげみ給うて等身大の大作を刊行され、人生の大満悦を得られるよう、御達者で頑張ってください。